

石田 東生

筑波大学名誉教授
SIP「スマートモビリティプラットフォームの構築」
プログラムディレクター



<略歴>

東京大学大学院土木工学専攻を修了後、東京工業大学助手、筑波大学社会工学系教授を経て、2017年に定年退職。専門分野は、交通政策・国土政策・社会資本政策。

最近ではMaaSやスマートシティに関する提言活動や政府の検討会議に参画している。国土交通省国土審議会推進部会副座長、グリーンインフラ推進戦略会議座長、経済産業省デジタルライフライン総合整備推進会議有識者構成員、デジタル庁モビリティWG有識者構成員などを務める。

著書に、『みち——創り・使い・暮らす』（技報堂）、『歴史の謎はインフラで解ける 教養としての土木学』（産経新聞出版）、『ウェルビーイングを実現するスマートモビリティ』（学芸出版社）など。